心臓及ビ脈管ノ先天性畸形ニ就キテ：先天性肺動脈狹窄、肺動脈辨異常、卵圓孔不全閉鎖、室中隔欠損。大動脈弓部動脈起始ノ異常、大動脈峡部狹窄。附肺及ビ脾ノ先天性畸形。(承第三十七號)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小原, 芳雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38572

十全會雜誌（第參拾九號）

原著及實驗

○心臟及ビ脈管ノ先天性畸形ニ就キテ

先天性肺動脈狹窄、肺動脈瓣異常、卵圓孔不全閉鎖、室中隔欠損。大動脈弓部動脈起始ノ異常、大動脈峽部狹窄。附 肺及ビ脾ノ先天性畸形。（承第三十七號）

金澤醫學專門學校病理教室
特別會員 小原芳雄（金澤）

第四項、 發生學ノ續、

以上說キシ所ハ、單ニ「生理的人体心臟發生學」ノ概略ニ過ギズ。次ニ、余ハ、本項ノ主要ナル「先天性心臟畸形ノ發生病理」ニツキ述ブル所アルベシ。然レ𪜈之ノコタル既ニ、諸學者ノ研鑽ヲ經、殆ンド間然スル所ナキ迄ニ闡明セルト、諸君ノハヤク理解會得セラルルコナルベケレバ、勿論其大体ノミニ止メン。

往昔、頭腦ノ單純ナリシ時代ニ於テハ、多クノ變形、モシクハ畸形等ニ注目セシト雖モ、唯粗萊ナル觀察ヲ下シ、深ク注意ヲ拂ハザリシナリ。サレバ、畸形心臟ノ知ラレタル、マタ遠キ昔時ニアリシモ、單ニ Missgeburten トナ

シタルノミ。後、尙學者研究ノ目的物タルヨリモ寧ロ科學上珍奇ノ事物トシテ、タヾ不可思議ノ裡ニ埋沒セラレタルナリ。而シテ、之レニ就キ研究ノ矯矢ヲナセルハ、前々世紀ノ中葉 Sénac 氏（千七百四十九年）ナリトス。氏ハ今日知ラル、所ノ心臟異常畸形ノ殆ンドスベテヲ蒐集記載セリ。次デ J. Fr. Meckel 氏ハ、ハジメテ、之ノ畸形ヲシテ胎生學上ニ說明スベキモノトナセリ、即チ種々ノ階級ニ於ケル動物種屬ノ心臟ヲ畸形心臟ニ比較シ、以テ高等動物ハ、其胎生的發育ノ期間ニ、多クノ下級動物ノ完成セル形態ヲ經過スルモノナリトシ、進ンデ正常ナラザル心臟發生病理ヲ說明スラク、從前通常ノ發育ヲナセルモノ、或ル時期ニ於テ、發育停止ヲ起スニヨルト。而シテ其証據トシテ心中隔壁ノ欠損ヲ擧ゲ、第七—十週ノ胎兒ニハ、尙室中隔壁ノ欠損ヲ認ムベク、此欠損ノ由來ハ、先天性ノ肺動脈狹窄ニ結果スルモノナリトシ、マタ反對ニ、血流ノ主トシテ右室ヨリ室中隔壁ニ於ケル Primitive Lücke ヲ通ジ大動脈管內ニ流注セラレタランカ、玆ニ、永久ノ中隔壁完成ノ障碍ヲ來スハ勿論、續發的ニ、肺動脈ノ狹窄ヲモ將來スベキナリト。斯クノ如キ發育制止ノ原因ハ、形成力ノ欠乏 Mangel an Energie der bildenden Kraft. ニヨルモノニシテ、特ニ器械的原因ノ襲來スルナキモ、隔壁ノ開存ヲ起スベキナリト論ゼリ。氏ノ外 Morgagni 及 Hunter ノ両氏モ亦其發生原因ヲ單純ナル器械的機轉ニ求メントセリ。其他 Kreysig, Buffon, Geoffroy, St. Hilaire, Förster, 及ビ多數ノ學者相次ギテ各論ズル所アリ。其內 Kreysig 氏ハ、心畸形ヲ有スルモノノ幼少ノ少兒期ニ於テ、大ナル脈管幹ニ炎症ヲ惹起スルアリト云ヘリ。

降リテ一千八百七十五年 C. V. Rokitansky 氏ハ、心中隔壁欠損ニ關スル有名ナル業蹟ヲ公ニセリ。氏ノ研究ハ、鷄胎ニ就キテ精細ナル檢索ヲ遂ゲ、其結果ヲ人体心畸形發生ノ上ニ齎シ、中隔壁欠損發生幷ニ之レト他ノ心臟及ビ大血管幹ノ發育異常トノ合併ニ關シ、從來ノ學說ニ一新面目ヲヒラキ、爾來今日ニ至ルモ、言ヲ先天性心臟畸形ニ及

ボスモノ、筆ヲコヽニ走ラスモノ、マヅ氏ノ說ヲ引証セザルナシ。而シテ氏ノ說ケル心中隔壁形成ノ學說ハ、サキニ述ベタルガ如キ、今日一般ニ是認セラルヽモノトハ、或ル主要ナル点ニ於テ相違スル所アレバ、或ハ重複ノ嫌アランモ、氏ノ說ヲ述ブベシ。

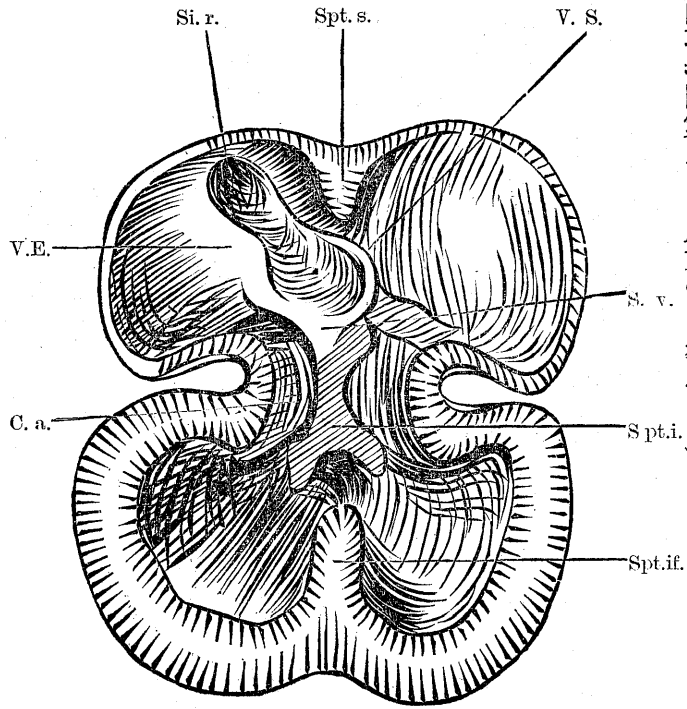
Embryo ノ立テルモノトシ、房ノ后部ノ上壁ニテ、殊ニ其中部ニ一箇ノ靜脈竇附着シ、此竇ノ上、及ビ左壁ノ出會フ部ヨリシテ、二箇ノ隆起ヲ生ズ。其ノ一ハ房ノ後壁ニ沿フテ后部房室唇ニ迄、他ハ房ノ上前壁ニ沿フテ前部房室唇ニ至ル迄進行クモノナリ。玆ニ於テ靜脈竇ヨリ囊狀部分ガ分離セラルヽモノトス。(肺靜脈ノ第一原基)、然ル後、上記ノ隆起ノ上ノモノハ下方ニ發育シテ靜脈口 Ostium venosus. ノ中部ニ懸垂スル所ノ帷帳狀物ヲ形成ス。而シテカヽル間、之ノ靜脈口ハ、前、後、両部ノ房室唇ノ相近接スルヿニヨリテ狹窄セラレ、裂隙狀ヲ呈シ、加之中部ニテハ閉鎖セラレ、サキノ帷帳狀ノ中隔ハ、此部ニ於テ出逢ヒ、且ツ靜脈口ノ横裂隙ニ對シテ垂直ニ房室唇ト癒着ヲ營爲スベシ。Rokitansky 氏ハ、之ヲ Provisorisches Septum. ト稱セリ。之ノモノハ數多ノ小孔ニヨリテ穿貫セラレ、恰カモ格子狀ヲ呈シ、且ツ左方ニ膨出セリ。然ル後此ノ Provisorisches Septum. ヲ框狀ニ取リ圍ミテ上記ノ隆起内ニ、肉質ガ進入ス、殊ニ此肉樣框、Fleischrahmen. ノ後部ハ Scheerenblattartig ニ相排開セラルヽニ至ル。玆ニ生ジタル間隙ハ、尙膜樣中隔ノ左方ニ膨出シタル殘余物ニヨリテ充タサレ、此ノ欠損ハ、一ノ大ナル半月狀ノ前部裂隙ニ至ル迄、漸次閉鎖セラル、而シテ此ノ裂隙ハ、胎生生活間、両房ノ交通孔トシテ開存スルモノナリ。

Rokitansky. 氏ガ、房中隔ノ欠損ニ於テ、Die Defekte des primären Septums. 及ビ Die Defekte des sekündären Septums. ノ二種ヲ區別シタルヿハ、既ニ第一項ニ述ベタリ。其ノ前者ハ、發育制止ニヨルモノニテ、帷帳狀ノ中隔ガ房室唇ト癒着セザル場合ナリ、故ニ、其欠損部ハ中隔ノ下部ニ存シ、且ツ頗ル大ナル部ヲ占ムルヿアリト云フ。

而シテ此種類ハ極メテ稀レニ屬ス。又、後者ハ膜樣部ノ欠損即チ卵圓孔ノ開存 Das Offenbleiben des Foramen ovale. ナリトス。

（第四項挿圖第九圖、A. B. C. ヲ參照セヨ）。

第十二圖



心中隔形成ノ想像圖

心臟チ上下ニ切半シ其后部ノ內面

Spt. s. = Septum superius.
Si. r. = Sinus reuniens.
V. E. = Valvula Eustachii.
V. s. = Valvula sinistra Vestibuli.
S. v. = Spina vestibuli.
Spt. i. = Septum intermedium
C. a. = Canalis auricularis.
Spt. if. = Septum inferius.

Rokitansky. 氏ノ後表レシ彼ノ有名ナル His 氏ノ研究ニヨル房隔壁發生說ハ、實ニ次ノ如クニシテ、R. 氏說ヨリモ複雜ナリトス。

房原基ノ凡ソ中央部ニ於テ房腔內ニ、房上壁ヨリ殆ンド垂直ニ經過セル皺襞ヲ生ズ。而シテ之ノモノハ、鎌狀ニ房ノ上壁ヲ占メ、且ツ房室唇ニ對シテ前及ビ後方ニ走レリ。

Septum superius. 是レナリ。此ノ皺襞ノ右方ニテ、シカモ之レニ關係ナク、房右半部ノ後壁ニ於テ、稍々三角形ニ近キ部分ニ、壁ノ筋肉質ヲ欠如セル所アリ。此部ハ、Porta vestibuli. ニシテ、其右上部ハ、Sinus reuniens. ノ開口

ニヨリテ充タサレ、其余ノ Sinus reuniens. ノ開口ヨリモ左下方ノ部分ハ、胎生ノ尙初期ニ生ジタル心臟ノ Gekröse ヨリ由來セル結締織ヲ含メリ、乃チ Area interposita. ナリ。カクテ Sinus reuniens. ハ、漸次房內腔ニ推シ入リ、竇開口部ノ變化ニヨリテ、其左、右両側ニ皺襞ヲ形成スルニ至リ、之ノ皺襞ハ下方ニ向ヒ、Area interposita 內ニ走レリ、而シテ其右方ノ皺襞ハ、Valvula Eustachii ニシテ、左方ハ、Valvula sinistra Vestibuli. ナリ。今、Area interposita ヨリハ、房內腔ニ向フテ楔狀ノ結締質隆起 Bindegewebskeil ヲ生ジ、(Spina vestibuli) 之レハ更ニ、下方、心耳管、Ohrcanal. ニ對シテ進入シ、Septum intermedium トナル。茲ニ於テカ、Spina vestibuli. 及ビ其ノ延長ヨリナレル Septum intermedium. ハ Septum superius. ノ前脚ト結合シ、以テ、房中隔 Septum atriorum. ノ前方ノ部分ヲ形成スベシ。是レ、即チ卵圓孔ノ前部ヲ周繞スル梔緣タルモノナリ。又、房中隔ノ後部ハ Valvula sinistra Vestibuli ガ左方ニ向ヒ Septum superius ノ下部迄延長シ、之レト背面ニ於テ癒着スルヿニヨリテ形成セラル、而シテ之ノモノハ、Valvula foraminis ovaris. ヲ形成スルモノトス。

斯ク両說ノ各相違スル所アリト雖モ結局卵圓孔ノ開存、(即チ Rokitansky 氏ノ所謂 Die Defekte des sekündären Septum.). ヲ起スベキ機轉ハ、次ノ如ク說明セラルベシ。即チ胎兒娩出ノ後、暫時ニシテ呼吸ノ關係ヨリ卵圓孔ノ不必要ヲ起シ、肺循環ノ營爲ノ爲メ左房ハ大量ノ血液ヲ以テ充盈セラル、此際両房ノ血量ニ於テ相等シク、且ツ血壓ノ差違ナキニ至レバ、茲ニ從來卵圓孔ヲ通過セシ血流ハ停止シ、卵圓孔閉鎖ヲ起スベキナリ。之ノ閉鎖機轉ニ關シテハ Peacock 氏ノ精細ナル研究ニヨリテ明晰トナリシモノニシテ、卵圓孔ノ緣及ビ瓣(即チ His 氏ノ所謂 Valvula sinistra Vestibuli. ノ變化ニヨリテ生ジタル Valvula foraminis ovaris. ナリ)ノ變化ニヨリテ閉鎖ヲ始メ、孔、自カラハ、益々小トナリ、其孔緣ノ脚ハ互ニ相近爾シ、瓣モ、亦、延長シテ遂ニ瓣ノ遊離緣ハ孔ヲ超越スルニ至リ、コ

コニ全キ閉鎖ノ成立スルモノナリ。斯クノ如クニシテ正常ナル塲合ニテハ既ニ第一週內ニシテ完全ナル癒着ヲ形成ス。而シテ閉鎖機轉ヲ起サヾル或ハ全カラザルヿノ成立スルハ實ニ、次ノ二ツノ塲合ノ何レカ、モシクハ、伴フ塲合タルナリ。即チ

第一、閉鎖裝置ノ欠如スルニ因スルカ。若シクハ、

第二、閉鎖機轉豫約ノ欠乏ニ起因ス。

即チ孔隙ノ割合ニ大ナルカ、又 Valvula foraminis ovaris. ノ余リニ小ナル、若シクハ其瓣膜自己ニ裂隙、穿孔ノ存セル㆑ハ、卵圓孔ノ閉鎖完成セザルハ勿論ナリ。又肺循環ノ障害、例ヘバ、生後第一日ニ於テ肺膨脹不全、肺炎等ノ存セル㆑、若シクハ右房室間孔肺動脈口、乃至肺靜脈ノ左房開口部等ニ狹窄若シクハ閉鎖ノ存スル㆑ハ、左房ノ血液充盈不充分トナリ、又大動脈口ノ狹窄、閉鎖、大血管幹ノ轉置、一室心（Cor biloculare biatriatum.）等ノ存スル㆑ハ、血行障害ヨリシテ、卵圓孔閉鎖機轉ハ妨害セラルベキナリ。又以上ノ他ニ、或ル人ハ、血行障害等ノ影響スルヿナクシテ、ヨク原發性ニ卵圓孔開存ノ起ルヿアルヲ說クモノアリ。

卵圓孔形成ニ關シ上來其梗概ヲ述ベシ學說ノホカ、古キ時代ヨリ多クノ學說アリ。例ヘバ Haller, Sabatier, Baer, Rathke, Meckel, Weber, Valentin, Kilian, Thomson, Wolf, Masius, Lindes, Rauchfuss, Langer, ナタ Kölliker 氏等擧ゲ來レバ、實ニ甚ダ多數ニ上ルベシ。マタ近者、Born, J. Arnold, Rüge 氏ノ如キ、各卓越ナル學說ヲ公ニシ、從來ノ發生史上ニ幾多改新ノ事實ヲ發見セラレタリキ。（未完）